熊本県歯科医師会
Kumamoto Dental Association

～健康長寿は歯から～
～健口から健幸へ～

熊歯会報

No.808
October 2023
10

CONTENTS

- 巻頭言（副会長　永松 聖隆）……3
- 理事会報告……4
- 委員会報告……6
  （厚生・医療管理委員会）
- 委員会紹介……7
  （社保委員会、学術委員会）
- 各郡市新執行部紹介……8
  （山鹿市、上益城郡、天草郡市）
- 報告……9
- 郡市会報告……11
  （熊本市、山鹿市、人吉市）
- かめる会……14
- 市民講座……15
- 学院だより……16
- 報告……17
- リレー投稿㉒……18
- 熊歯乙女のひとりごと㉝……19
- 投稿……20
- 新入会員……21
- 会務報告……22

― 歯科医師の倫理綱領 ―

われわれ歯科医師は、日頃より歯科医学および歯科医療の研鑽を通じて培った知識や技術をもって、人々の健康の回復と疾病の予防のために貢献するものである。

一、専門職として歯科医学と歯科医療の発展のために尽くし、医療倫理の実践に務める。

一、専門職であることを念頭に、法を遵守し適切な説明を行い、常に愛情を持って患者のために社会的使命を果たすように努める。

一、自己の知識、技術、経験を社会のために提供し、社会福祉および国民の健康向上のために努める。

公益社団法人　日本歯科医師会

表紙に寄せて

山都町の八朔祭に行ってきました。メインイベントである大造り物の引き廻しは圧巻でした。竹、杉、すすき、松笠などの自然のものだけを使って造られているとは思えないほど迫力のある大造り物は、実際に目の前にするとかなりの大きさに圧倒されました。猛暑の中でしたが、暑さに負けないほどの参加者の熱気を感じました。

（G・H）

「飲水思源」

副会長　**永松 聖隆**

この度、副会長として微力ながら、犬馬之労をとらせていただくことになりました永松です。どうぞ宜しくお願いいたします。

厚生労働省設置法第10条に基づき設置される医道審議会というものがあり、８つの分科会で構成されています。そのうち、医師、歯科医師の資格に対する行政処分を所管するのが医道分科会です。行政処分や再免許の妥当性について審議する会議を毎年度３回の頻度で開催しています。そこで求められるのは、医師、歯科医師の本来の責務です。「医療は、生命の尊重と個人の尊厳の保持を旨とし、医師、歯科医師その他の医療の担い手と医療を受ける者との信頼関係に基づいて行われるものであり、医師、歯科医師その他の医療の担い手は、医療を受ける者に対し良質かつ適切に行うよう努めるべき責務がある。また、医師、歯科医師は、医療及び保健指導を掌ることによって、公衆衛生の向上及び増進に寄与し、もって国民の健康な生活を確保することを任務としている。」こうした医師、歯科医師の責務を前提に、行政処分に関する意見の決定について、医道審議会は、「医師、歯科医師として求められる品位や適格性、事案の重大性、国民に与える影響等を勘案して審議していく。」と述べています。まさに左のページに記されている歯科医師の倫理綱領が求められているのです。患者さんに対してはもちろん、自院スタッフに対しても歯科医師としての威厳を持った対応が望まれています。それが、今台頭してきているポピュリズムに対抗出来る根源ではないでしょうか？先人のことばに「今の私は、これまでに出会ったものすべての賜物である」があります。多くの方から御指導、ご鞭撻頂いた事、多くの物から知識を得た事で今の自分があるのだと思っています。自分自身の足場を固め、しっかりとした理念を持ち県民の皆さんの健康確保のため貢献しなければならないと考えます。今期も変わらずの御指導、御教示宜しくお願いいたします。

理事会報告

困難な道を課題解決しながら進んで行く

― 第４回理事会 ―

８月22日（火）午後７時より県歯会館において伊藤会長他全役員、増田・水上監事、東学院長出席のもと開催された。

１．開会：大林副会長
２．挨拶：伊藤会長

今、歯科界では色々な課題があると思います。人生において岐路に立った時に困難な道を選びなさいと言います。楽な道はスムーズで上手くいったように思いますが、課題を先送りにし、状況は変わっていないことになります。課題を先送りにしても解決することはありません。事業・会務においても先送りにしても変わりません。私たちは困難な道を課題解決しながら進んで行くことで、会の発展に繋がると思います。今一度見直し困難な道に立ち向かっていくことを考えていきましょう。

３．議長選出：伊藤会長
４．議事録署名人：増田・水上監事、伊藤会長
５．会務報告：（自：７月21日～至：８月17日）
本会総務：理事会、常務理事会、新旧役員・各委員会合同連絡会議
学　　術：学術委員会
社会保険：社会保険委員会
地域保健学校歯科：地域保健学校歯科委員会、（Web）笑顔ヘルＣキャンペーン打合せ
地域包括ケア：地域包括ケア委員会
広　　報：『熊歯会報』８月号・９月号の校正、Ｔ１パークとの打合せ
医療対策：医療相談・苦情事例報告
厚生・医療管理：（Web）厚生・医療管理小委員会
学　　院：前期終業式
国保組合：臨時組合会
以上、各担当役員より報告がなされた。

６．報告事項
１．退会会員について
故 西山 洋一 会員（終身／下益城郡／西山歯科医院）　令和５年７月19日付　ご逝去
故 出口　諭 会員（第１種／熊本市／デグチデンタルオフィス）　令和５年７月28日付　ご逝去
中山 雄太 会員（第１種／熊本市／上熊本歯科医院）　令和５年７月31日付　自己都合
故 坂井　満 会員（終身／八代／坂井歯科医院）　令和５年８月７日付　ご逝去
故 山口 彩子 会員（第３種／菊陽病院（菊池郡市）　令和５年７月25日付　ご逝去
２．日本スポーツ協会公認スポーツデンティスト養成講習会受講審査の結果について
３．歯科ヒヤリ・ハット事例収集等事業について
４．各委員会でのファイル箱利用について
５．７月末会計現況について
６．事業報告について（【Web】医療管理講演会）
７．職員の人事異動について
退職　総務課　書記　藤井　香（令和５年７月31日付）
復職　総務課　書記　桑田裕加里（令和５年８月１日付）

7．連絡事項
　1．9月行事予定について
　2．その他
8．承認事項
　1．新入会員の承認について【承認】

第1種

氏　名	医療機関名	住　所	出身大学
伊豆味良太（いずみりょうた）	いずみ歯科	熊本市中央区帯山5-34-48	九州歯科大学
坂井　宏光（さかい　ひろみつ）	坂井歯科医院	八代市通町6-17	福岡歯科大学
米花　征貢（べいか　まさつぐ）	那須&べいか歯科クリニック	人吉市灰久保町19-2	鹿児島大学歯学部
西川　文（にしかわ　あや）	西川歯科医院	熊本市中央区出水4-25-25	福岡歯科大学

第2種

氏　名	医療機関名	住　所	出身大学
米花　智代（べいか　ともよ）	那須&べいか歯科クリニック	人吉市灰久保町19-2	朝日大学歯学部

第3種

氏　名	医療機関名	住　所	出身大学
小堀　聖子（こぼり　しょうこ）	新屋敷津田歯科医院	熊本市中央区新屋敷1-21-10	長崎大学歯学部

　令和5年度入会状況（8月）第1種／12名　第2種／2名　第3種／3名
　2．関係機関・団体からの役員等の推薦依頼について【承認】
　・熊本県後発医薬品安心使用・啓発協議会委員 ／ 熊本県健康福祉部健康局薬務衛生課
　任期：～令和7年3月31日
　推薦：馬場常務理事
9．議題
　1．関係機関・団体への会費等の納入について【承認】
　①年会費／熊本県防衛協会
　②企業・団体会費／（公社）くまもと被害者支援センター
　③浄財費／藤崎八幡宮
　④協賛費／一般社団法人熊本暮らし人まつり
　⑤年会費／社会歯科学会
　2．3・4階ＬＥＤ更改、全館非常灯・誘導灯更改について【承認】
　西部電気工業株式会社へ委託することを承認した。予算組を立てて3月の代議員会に上程する。
　3．部活動補助金交付申請について【承認】
　第53回かめる会展／熊本県歯科医師会芸術同好会かめる会へ補助金を交付することを承認した。
　4．事業企画書について【保留】
　HIV陽性者の一般歯科治療受け入れ歯科診療所の募集について詳細に内容をまとめ再協議する。
　5．診療情報提供書の取り扱いについて【承認】
　10月の発送物にて同封することを承認した。
　6．Beauty × Teeth コンテスト2023の開催について【承認】
　実行委員会を設置し、今年度も開催することを承認した。
　7．くま歯キャラバン隊について【承認】
　研修メニューを各所管で検討することを承認した。
10．協議事項
　1．その他
　・全国歯科保健大会のテーマについて
11．監事講評
　増田監事：「県内のHIV陽性者が約240名と聞きました。それぞれの不安は正しい知識を持って対応していかなければならないと思います。かめる会への補助金交付はありがとうございました。皆様もかめる会展に是非お越しください。」
　水上監事：「理事会が活発になりとても良い雰囲気です。仕事が進まないこともあると思います。過去には戻れないので現在出来る限りのことをポジティブに頑張っていきましょう。マイナンバーのトラブルでは保険証が悪いという風潮も出てきています。国はしっかり検討して欲しい。」
12．閉会：永松副会長

（広報　神﨑 理子）

委員会報告

歯科診療を行う際に知っておくべき放射線の安全管理

― 医療管理講演会 ―

厚生・医療管理

7月20日（木）19時30分より標記研修会がオンラインで開催された。講師は九州歯科大学歯科放射線学分野の教授である森本泰宏先生で、「歯科診療を行う際に知っておくべき放射線の安全管理」という演題でご講演いただいた。永松県歯副会長から開会の挨拶をいただき、講演会が始まった。

2020年4月より医療法施行規則の一部改正に伴い、病院等の医療放射線安全管理責任者は診療用放射線の安全利用のための研修を年に一回行うことが義務付けられた。今回の講演会はこの研修に必要な内容をご説明して頂いた。

歯科医院の院長が医療放射線安全管理責任者となり、医療放射線安全管理責任者が行わなくてはならない業務についての説明があった。「診療用放射線の安全利用のための指針」を策定し、その中の記載事項のひとつに年に一度の医療放射線に関する安全管理の職員研修の実施があるとのこと。「診療用放射線の安全利用のための指針」は日本歯科放射線学会のホームページから基本事項を記載したものがダウンロードして利用できる。各医院の状況に応じて修正し、指針を作成することを勧められた。

指針に記載されるべき内容は、

1．診療用放射線の安全管理に関する基本的考え方を記載

2．放射線診療に従事する者に対し行う「診療用放射線の利用に係る安全な管理のための研修に関する基本的方針」を記載。研修対象者は医療放射線安全管理責任者、常勤、非常勤の歯科医師、歯科衛生士、その他歯科助手の方など、診療に関わる従事者となる。開催は最低1年に1回以上。E-learningで研修を行うことも可能。放射線診療に従事する者に対する研修内容は以下の通り。

放射線の安全管理について説明する森本教授

①患者の医療被曝の基本的な考え方
②放射線診療の正当化
③患者の医療被曝の防護の最適化
④放射線の過剰被爆とその他の放射線診療に関する事例発生時の対応など
⑤患者への情報提供について

講演会ではこれらのことを詳しく説明していただいた。

指針の話が終わり、放射線学の歴史や放射線の基礎などもお話しいただいた。医療被曝の代表的線量は歯科撮影（口内法）で約0.01mSv程度。パノラマエックス線撮影では約0.02～0.05mSv程度、CTにより上顎骨や下顎骨を撮影すると約1mSv程度。一方、自然放射線の代表的被曝として、東京とニューヨーク間の往復の飛行による被曝量は約0.2mSv程度。歯科領域の撮影の被曝量は一般的に少ないが、それでも不要な画像検査は行ってはいけない。リスクとベネフィットを考えて、患者に画像検査を行う必要があるか否かを判断する必要があると述べられた。

講演はあっという間に予定時間を迎え、質疑応答の後、工藤理事の閉会の挨拶により終了した。

（黒岩 寛士）

委員会紹介 その２

社保委員会（理事　野田 和宏・舩津 雅彦）

理事の抱負

この度、引き続き伊藤執行部３期目の社会保険担当理事に任命されました野田です。新型コロナウイルス感染症の分類が２類から５類に変更になり、少しずつ生活も戻ってきている感じがします。

その中で培ったハイブリッド形式の講演会や日歯のE-systemを引き続き活用していきたいと考えています。来年４月には次期点数改定が行われる事になっています。全会員に分かりやすく社保情報を伝えていけるように社保委員一丸となって取り組んでいきますので、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

役　職	氏　　名	所属郡市
委員長	桐　野　美　孝	玉名郡市
副委員長	清　水　雅　英	人吉市
	橋　本　英　樹	山鹿市
	園　田　隆　弘	阿蘇郡市
委　　員	井　口　泰　治	熊本市
	清　藤　寿　晃	八　代
	中　村　圭　介	荒尾市
	小　林　裕　介	天草郡市
	宇　都　和　寿	熊本市
	市　川　康　裕	菊池郡市
	中　川　真　樹	熊本市
	原　田　　華	熊本市
	上　田　浩一朗	八　代
	鎌　田　政　彦	下益城郡
	宇　治　寿　隆	熊本市
	金　本　良　久	熊本市

理事の抱負

社保担当理事を拝命しました、舩津雅彦です。

次期診療報酬改定を控えて、４月の改訂後６月の算定の運用を行うとの厚生省からの通知もあり、毎回の改定時の混乱を緩和して熊本県歯科医師会の会員の先生方へスムーズに新しい点数算定方法をお伝えできるように尽力していきたいと考えております。また、日々の診療における算定もこちらからの伝達ではなく、皆さんの声を聞かせていただき回答していくことを心がけたいと思います。御指導宜しくお願いいたします。

学術委員会（理事　豊田　正仰）

理事の抱負

この度、学術担当理事を拝命いたしました豊田正仰です。

従来の学術講演会を企画するだけではなく、日常臨床におけるエビデンスや使用する歯科器材など日々の診療に役立つ情報を積極的に発信して参りたいと思います。

また熊本市学術委員会や他委員会と連携して歯周病プロジェクト、歯科と全身との関連・医科歯科連携の推進などについて取り組んで参ります。日歯生涯研修についても、会員の皆さまがしっかり単位取得が達成でき日本歯科医師会生涯研修総合認定医を取得できるようサポートしていきたいと思っております。

会員の皆さま、今後共、御指導宜しくお願いいたします。

役　職	氏　　名	所属郡市
委員長	内　野　　玲	上益城郡
副委員長	南　川　剛　寛	菊池郡市
委　　員	片　山　泰　紀	熊本市
	添　島　賢　一	熊本市
	片　山　建　一	阿蘇郡市
	飯　盛　美　豊	菊池郡市

各郡市新執行部紹介

山鹿市歯科医師会（会長　河原 正明）

①年間行事、事業
・忘年会、新年会、暑気払い
・歯と口の健康週間事業
・従業員永年勤続者表彰
・行政、議会、医師会、薬剤師会、歯科衛生士会等との連携
・山鹿市民医療センターとの医療連携や研修会

②現在計画中の行事、事業
・コロナ禍で開催出来ていなかった、移動例会や会員親睦レクリエーション
・「訪問歯科診療のご案内」小冊子作製
・院内スタッフ、歯科衛生士会参加の研修会
・非会員の勧誘

③会の特徴
・２か月毎の例会、理事会を実施しており、問題や注意事項があれば、その度メール等でやり取りを行い、迅速に対応出来るようにしている。会員の減少や高齢化に対して、執行部で知恵をしぼり、山鹿市民や会員に貢献したい。

（小林 聡）

上益城郡歯科医師会（会長　岩本 知之）

①年間行事
・三師会
・宇城三郡市合同学術講演会
・BLS講習会
・笑顔ヘルＣキャンペーン事業
・忘年会兼臨時総会（会員旅行）
・月例研修会
・学校歯科検診、各町村乳幼児健診
・医師会主催、在宅医会への協力

②現在計画中の事業
・会員スタッフへの福利厚生事業
・月例研修会の充実
・訪問歯科診療における歯科-歯科連携
・益城町再開発に伴う移転問題への対応

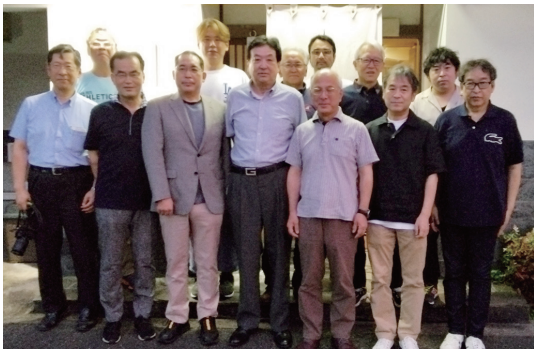
③会の特徴
　若い会員が多く、活気に満ち溢れている。ここ数年は新型コロナの影響で中止していた事業も多かったが、徐々に活動を再開し、他職種との連携や郡内活動を活発に行っていきたい。また、地域によっては急激に高齢化が進んでいるところもあり、訪問診療のニーズが益々高まっていると感じるが、その対応は不十分であるため、訪問診療の拠点である共愛歯科を中心に、県歯とも協力して歯科-歯科連携を推進していく必要がある。
　熊本地震の震源地でもある益城町は再開発が進み、移転問題等が未だ解決していない会員もいるため、会としても全力でサポートしていきたいと考えている。

（太田 宜彦）

天草郡市歯科医師会（会長　中嶋 敬介）

①年間行事、事業
・令和４年度通常総会（４月22日）
・三師会ゴルフ＆親睦会（例年５月→中止）
・長寿祝賀会（６月３日、傘寿１人、古稀２人）
・会員、スタッフ健康診断（７～９月に３回）
・高齢者のフレイル予防普及啓発講習会（講師：松本信久、内崎祐一）
・歯恩の碑清掃（10月14日）
・第65回歯牙供養祭（10月28日、南公園歯恩の碑前）
・第59回天草歯科医学大会（講師：慶応義塾大学口腔外科中川種昭教授：歯周病と全身疾患について）
・天草市健康のつどい（11月11日、無料検診、フッ化物塗布、歯科相談、高齢者表彰）

②現在計画中の事業
・糖尿病、歯周病医療連携事業
・天草市妊婦・成人・高齢者歯周病検診
・在宅診療ネットワーク事業
・ケアマネジャーとの連携



③会の特徴
現在会員数64人、医院数50→46医院と閉院されるところもあるが、高齢化の著しいこの地区の将来を考慮しつつ、現場に根ざした地域歯科医療に貢献していきたい。

④その他
コロナ禍において感染者数の増減や開催時期のタイミングを熟慮しながら、規模を縮小しても何とか90周年記念式典をやり終えた。100周年に向けての礎を築けた事が何よりよかったと思う。

（槌本 亮二郎）

報 告　合同就職説明会

８月27日（日）午前10時より県歯会館４Ｆにおいて歯科衛生士合同就職説明会が、４年ぶりに開催された。今年度は、65事業所の会場参加と５事業所の資料参加があった。開会に先立ち、永松副会長より挨拶があり、牧委員長による注意事項の説明がなされた後に開場となった。今年度は、熊本歯科衛生士専門学院より３年生36人・２年生29人、熊本歯科技術専門学校（中島学園）より12人の合計77人の参加があり、開場後、早速希望する事業所のブースを訪れ、熱心に話に聞き入っていた。最初は遠慮気味に会場内を歩いていた学生達もいたが、時間が経つうちに積極的に数か所の事業所の話を聞き回っている姿も多かった。今年は、学生たちに５ヶ所回ると景品が貰えるスタンプラリーを行い、より多くの事業所を回ってもらい幅広い情報に触れていただくことができた。また、参加事業所もパソコンや資料などを用いて自院のアピールを行っていた。場内では大きな混乱もなく、12時30分に面談は終了し、各自アンケート提出後に解散となった。今回はRKK、TKU、KKTとテレビ局３社より取材も入り、当日お昼のニュースで放映されるなど歯科衛生士確保について社会的関心の高さもうかがえた。この合同就職説明会が会員の診療所と歯科衛生士の縁をつなぐ一助となればと願う。また、今年度開催の反省点を踏まえ、来年度も有意義な説明会としていきたい。

（江藤 崇文）

65事業所の会場参加があった

テレビ局３社も取材に

熊本市歯科医師会

令和５年度　熊本市歯科医師会第１回学術講演会

『顎関節症の本質の再考について～保存療法と外科的療法の境界について～

京都第二赤十字病院　歯科・口腔外科部長　猪田（イノダ） 浩理（ヒロミチ）　先生

令和５年６月３日（土）午後３時より熊本県歯科医師会館３階会議室にて、標記講演会が開催された。参加人数は50人ほどであった。京都第二赤十字病院　歯科・口腔外科　猪田浩理先生をお招きし、宮本会長の開会の辞に続き、講演が始まった。講演会は２部構成になる。

まずは第１部について。

顎関節症の症状については、口の開け閉め、咀嚼時の顎関節の痛み、口が十分に開かない、下顎、こめかみ付近の鈍い痛み、関節の雑音（クリック、クレピタス音）、咀嚼筋の倦怠感などがある。治療対象はこのクリック音、咀嚼筋の倦怠感以外が該当する。顎関節の構造が寛容で比較的ゆるい組織であるため長期経過では３分の２の人のクリック音が治ってしまう。痛みの種類は１．神経痛　２．発痛物質を介する痛み　３．ストレスを介する痛み　がある。

それでは、なぜ、“顎関節症”は発生するのか？顎関節症になってしまうのは、生活習慣の面もあるが、それよりも解剖学的な特徴からくる個体の差によるところが大きいと言える。男性よりも女性に多いというのも含め、個体特異性があることを理解しておきたい。またクレンチングなどの習癖が関節円板を前方に転位させる原因であることもエビデンスが高いことがわかっている。咬合高径の経時的変化や何らかの遺伝子的背景もあると思われるが、これらのエビデンスは低い。

ここで、症状を型でとらえて考えてみたい。

１．咀嚼筋痛障害……咀嚼筋痛を主徴候としたもの
２．顎関節痛障害……円板後部組織・関節包・靭帯などの顎関節痛を主徴候としたもの
３．顎関節円板障害……関節円板の異常を主徴候としたもの
　ａ．復位を伴うもの
　ｂ．復位を伴わないものがある。
４．変形性関節症……退行性病変を主徴候としたもの
５．その他にも非定形性痛を訴えるものがある。

１と２は保存療法と生活指導、３と４は保存療法＋生活指導＋外科的療法がある。５は保存療法＋医科連携になる。

顎関節症について詳しく解説頂いた

我々GPが顎関節症へ対処する場合には、スプリント療法を思い浮かべるが、このことにも解説があった。スプリント療法の治療効果については、固有咬合からの開放（均等な咬合接触関係の付与）、咬合干渉からの除去、悪習癖（くいしばり、はぎしり）の減少、筋収縮力の減少、下顎頭の位置修正と関節部の安静などの意義があるとこれまで言われてきたが、エビデンスをみてみると、これらの科学的なコンセンサスは意外に少ない。科学的根拠がとれていることとしては、関節腔内圧の減少をもたらすことにより関節円板の結節との摩擦減少が生じること、ハードスプリントとソフトスプリントではソフトスプリントが有利とのことだった。またスプリント療法はプラシーボ療法の手段として考えるのが良いとあった。

薬物療法に関して、科学的コンセンサスが得られていることは意外と少ない。薬物療法は開口時や咀嚼時に疼痛を有する症例に行うのだが、主に非ステロイド性消炎鎮痛剤（NSAIDS）を用いる。また、末梢性筋弛緩薬などを用いることがある。特に、筋肉の疼痛を有する症例においては両者を併用するのが効果的であるが、いずれもコンセンサスは低い。

顎関節症といえば、痛みとこころの問題を忘れてはならない。

他覚的所見に見合わない知覚異常の症状に対して、歯科では舌痛症、非定型性顔面痛、口腔異常症例、顎関節症Ｖ型、義歯不適応症などに遭遇することがある。こうした患者さんでは歯科において生活指導が中心になる。具体的には

良好な睡眠をとること、心の健康にも気を配ることが大切であると患者に理解してもらうことだ。

身体表現性疼痛を訴える場合には、その人のキャラクターに関わっていることもあるが、医科への紹介を考えた方が良い。それでも歯科において紹介の前にできることとして、「訴えをしっかりと聞いてさしあげる」という傾聴の姿勢が大切である。

続いて、第２部ではTMJ Surgeryの実際が動画を交えて紹介された。大学でもこれだけ詳細な画像は見たことがないと思う。実際開業医では実践するにはハードルが高いため、どのような方が外科的対応が必要なのか理解して２次医療機関への紹介をしたい。ご紹介のあった適応について以下に明記しておく。

顎関節症を訴える患者さんに対して、どのような時に２次医療機関への紹介を考えるか？

- 開口障害が急性的に発症して２ヶ月以上経過しても改善しない時
- 咀嚼時や開口時も痛みが２ヶ月経過しても改善しない時
- 明らかに30㎜以下の最大開口域が長期にわたっている時

これらのいずれかに該当している患者さんは紹介を検討していただきたいと思う。

貴重な外科の実際をご紹介いただいた後に、顎関節症もどきで鑑別診断を注意する疾患として、関節腔が石灰化物で満たされる「滑膜性軟骨腫症」「偽痛風」と、下顎の筋突起が大きくなる「咀嚼筋腱・腱膜過形成症」の紹介があった。開口障害のある患者さんを診察する際にはこれらの疾患も候補として考慮に入れていただきたい。

講演会は約３時間にわたり行われ、学術担当山口理事より猪田先生に感謝状の贈呈を行い、盛会のうちに講演は終了した。

（熊本市歯会学術委員　澤幡 佳孝）

令和５年度　第１回歯周病対策プロジェクトセミナー

歯周病とはどのような病気か　健康と病気の違い

東歯科医院　院長　**東 克章　先生**

７月６日（木）19時30分より、熊本県歯科医師会館４Ｆにて令和５年度第１回歯周病対策プロジェクトセミナーが開催された。

渡辺会長の挨拶後、東先生の講演が始まった。昨年に引き続き４回目の歯周病プロジェクトセミナーであり、今年は『動機づけにつながる患者説明の仕方』に焦点をあてて講演していただくことになり、歯周治療成功のためには「歯科医院で術者が治療する」「患者は治してもらう」という関係ではなく、患者が自ら口腔の健康管理が行えるように自分の健康は自分で守る意識を持ってもらうように教育することが最重要ポイントであると提言された。

「動機づけは検査から始まる」ため、「３㎜までが青信号」「４㎜、５㎜は黄色信号」「６㎜以上は赤信号」などと検査の前から伝えることで検査をしながら動機づけとして患者に状態を気付かせることが重要である。また、それにより患者は次に行動（ブラッシング、治療への協力）に移しやすくなる。しかし、人間はすぐに忘れるものなので、繰り返しモチベーションを上げることが重要であると説明された。

歯周治療の動機づけは、１日にしてならず、長い間の努力なしには完成されず、動機づけを成功させるために必要なことは、患者の身になり考え、原因の説明と理解を促し、危機感を共有すること、そして、患者の努力を褒め、励ますことが重要であることを述べられた。

また、治療せずに放置した時に、どのような状態になり、どのような不便なことが待っているかということも理解してもらうことが重要であり、患者のモチベーションにつながるためとても重要である。また歯周治療は長期にわたる治療になるため、再評価を行い患者と共有することも重要であり、再評価の時期は本来であれば３ヶ月の後行うことが理想であるとされた。

講演は約１時間半にわたって行われ、参加者一同知識の研鑽になったと感じられた。

（参加108人）

（熊本市歯会学術委員会　久木田 大）

山鹿市歯科医師会

くま歯キャラバン隊

― IN 山鹿 ―

令和５年８月４日（金）山鹿市民交流センターにて、例会の後、熊本県歯科医師会医療対策委員会の椿賢理事に「医事紛争への対応と事例報告」の題名で事例を交えて御講演頂いた。

医療事故が起きたら、なかなか冷静に対応出来ない。対応がわからない時は歯科医師会に相談すると対応して頂けるとの事だった。

医療苦情は、歯科医院の対応、態度、治療内容、説明不足、料金等が主な原因だそうだ。クレームには様々なタイプがあり、以前は女性からの苦情が多かったが、コロナ禍の影響かもしれないがクレームのパターンやタイプが変化しているらしい。クレームに対して、対応がわからない時は即答せずにワンクッション置く事も必要らしい。クレームの内容をしっかり聞いて正確に記録し、録音する事も効果的だそうだ。とにかく漏れなくカルテ記載する事が重要である。

椿理事の講演に聞き入る参加者

労務問題は、労働条件を明確にし、スタッフの業務範囲を確認し、逸脱した事はさせてはならない。

医療事故、紛争、トラブルはいつ起こるかわからない。院内の環境を整備し、常にカルテ記載をきちんと行い、対応がわからない時は医療対策委員会の力をお借りして、非常時に対応出来るように備えが必要であると再確認した。

（小林 聡）

人吉市歯科医師会

令和５年度人吉球磨合同学術講演会を開催

―「口腔疾患における画像診断から放射線治療まで」―

令和５年８月５日（土）午後４時よりあゆの里にて、鹿児島大学顎顔面放射線科准教授　犬童寛子先生を講師に迎え開催された。球磨郡歯会向江会長挨拶、講師紹介の後、講演が始まった。

前半は、口腔疾患におけるデンタル、パノラマ、CBCT撮影の画像診断について様々な症例をあげて講演された。

後半は、口腔がんの放射線治療について先生の豊富な臨床経験からわかりやすく説明して頂いた。講演終了後にはたくさんの質疑応答があった。

画像診断や放射線治療についてご講演頂いた

最後に人吉市歯会齋藤会長の謝辞と記念品贈呈があり、閉会した。

（田中 勝久）

郡市会報告

人吉市歯科医師会

役員報酬の創設について答申

― ８月定例会 ―

８月23日（水）午後７時30分よりあゆの里にて標記会が行われた。

役員報酬・会費等見直し検討委員会の中原会員、今藤（隆）会員、清水会員、御手洗会員、入江（昭）会員の５人より齋藤会長に対し答申書が提出された。

検討委員会では、①役員報酬②出務費・日当等（他Web会議の場合）③その他必要な事項について検討され、６月27日の臨時総会での中間報告を経て今回の答申書提出の運びとなった。

今後は、答申に基づき理事会の協議を経て、臨時総会等での早期の議決が行われることを確認した。

答申書を手渡した

（田中 勝久）

かめる会

去る2023年８月27日より９月９日まで、熊本市中央区中央街にあります画廊喫茶「オアシス」にて第53回熊本県歯科医師会芸術同好会「かめる会」が開催されました。

かめる会は1969年の第一回開催より半世紀以上、途中コロナ禍による２回の中止をはさみつつ、例年開催いたしております。

画廊喫茶「オアシス」に舞台を移して２回目となる今年は、展示場所をすべて使い、ひとり複数の作品を展示し、盛況のうちに終了いたしました。

今回の出品点数は30点以上と、いつになく多く、また、絵画、写真、陶芸、クラフトと多岐にわたる作品で、見に来られた方も、作品とおいしいコーヒーを楽しむことができたのではないかと思っております。

かめる会は、いつでも皆様の参加をお待ち申し上げております。

最後になりましたが、会発足初期の頃より会員として毎年絵画を出品していただきました緒方進先生が、本年６月にご逝去されました。進先生の遺作も今回展示する事ができました。

かめる会一同、心よりご冥福をお祈りいたします。

（幹事　前田歯科医院　鈴木 憲久）

市民講座

『認知症700万人時代到来！お口の健康でフレイル予防を！』

令和５年７月29日、ホテル日航熊本において、NPO法人ハートリング運動・（一社）お口の健康と食べる力を支える会主催、熊本県・市歯科医師会、熊本市、熊本県歯科衛生士会後援による口腔健康サポーター市民講座が開催された。

開会に先立ち伊藤会長の挨拶があった

冒頭に本会伊藤会長の挨拶にて、健康寿命を延ばす方法の一つとして近年フレイルの予防が着目されてり、そのために必要なことがオーラルフレイルの予防であると話され、講演に移った。

最初に、本会長野常務理事より「健康寿命は歯から―ご存じですか？オーラルフレイル」と題し、講演１が行われた。老化による廃用、寝たきり、認知症など、高齢者の病態は多様化し、そのニーズも多様化している。歯科は、摂食・嚥下の間にある咀嚼の専門であり、口腔機能の低下から障害への意向の予防による健康寿命の延伸への貢献をすること、要支援・要介護への進行の予防による医療費･介護費の抑制を行わなければならない。また、早期の治療介入スクリーニングの為にも後期高齢者歯科口腔検診を受診するようにと呼びかけられた。

オーラルフレイルについて説明する長野常務理事

次に、熊本県歯科衛生士会中村加代子副会長より「お口を守るために―セルフケアとプロフェッショナルケア」と題し講演２が行われた。まず、歯の役割が紹介され、歯数・義歯の使用と認知症発症の関係や、オーラルフレイルチェック表及びその予防についての説明があった。また、歯ブラシの歴史にはじまり、歯ブラシの交換･保管方法、デンタルフロス･ワンタフトブラシの使い方に加え、むし歯の予防についての具体的な方法を説明され、「お口の体操」を会場の方と一緒に実演された。また、熊本地震の経験から災害時の口腔ケアについてもお話があった。

多数の来場者があり盛況となった

その後、2022年11月にBS日テレで放送された、東京医科歯科大学接触嚥下リハビリテーション分野教授戸原玄先生出演の「食べるを支える歯科医師―ぐーかん先生の挑戦」と題したビデオドキュメンタリーの上演が行われた。

最後に、「認知症の両親の介護―「食べる」で支えた25年」と題して、NPO法人ハート・リング運動専務理事早田雅美氏による実体験を通した講演３があった。

会場は、予定人数を大幅に超えて200人超えの大盛況となり、追加の席を設けるほどであった。医療関係者の他多くの市民の方が聴講されていたが、このような市民公開講座により、広く県民に対して認知症と口腔の機能との関係を知ってもらうことは、大変有意義なことであり、今後も我々歯科医師会としてこのような啓発活動を企画し講演を行うことは重要だと感じた。

（赤尾 浩彦）

学院だより　子供たちへ歯科衛生士をアピール！

「わくわくおしごとたいけん」

９月16日（土）から18日（月祝）の３日間、イオンモール熊本主催の「わくわくおしごとたいけん」に参加しました。

今回、学院のホームページやInstagramで学院の活動をご覧いただいたことから、歯科衛生士のコーナーの担当をお願いできないかとお声かけをいただきました。

対象は、イオンキッズ会員様（３歳から12歳）で、初めての開催でしたが大盛況にて終了しました。

ブースには、美容師やネイリスト、お花屋さんなど、たくさんの体験コーナーがありました。

当学院の歯科衛生士のおしごとコーナーは、予約締め切り前には満員御礼となり、当日参加を希望する方もおられ、歯科衛生士への関心の高さを感じました。

中央のセントラルコートで受付されたイオンキッズたちが、プラカードを持ったスタッフに案内されて、各ブースにやってきます。１列に並んで登場する姿は非常に可愛らしかったです。

歯科衛生士のブースに入ると、まず子ども用白衣を着てもらい、人工プラークを塗布したファントムをコントラや歯ブラシを使って綺麗に磨いていただきました。中にはファントムを怖がるイオンキッズもいましたが、皆さん、集中して嬉しそうに最後までしっかりおしごと体験を頑張っていました。

おしごとたいけんの後、保護者の皆様は記念写真を撮り、イオンキッズたちは協賛いただいたおもちゃやデンタルグッズを嬉しそうに受け取っていました。

３日間で120人を超える参加者を迎えることができました。

このようなイベントを開催していただいたイオンモール熊本の皆様、そして企画・運営していただいたアドルームのスタッフの皆様に、心から感謝申し上げます。この体験を通じて、将来歯科衛生士を目指す子供たちが増えることを願っています。

詳細につきましては、学院ホームページやインスタグラムにも掲載していますので、是非ご覧ください。

学院ホームページ　　インスタグラム

KUMAMOTO_DHS

報　告　ついに完成！災害備蓄倉庫及び一般倉庫

学院正面入口横に整備を進めていた災害備蓄倉庫及び一般倉庫の引き渡しが、８月下旬にあった。

災害備蓄倉庫は、水や毛布、衛生用品など災害時の備蓄品や被災地へ支援活動に出務する際に携行する物資を収納するために設置。

一般倉庫は業務に必要な備品等の倉庫として設置された。

≪災害備蓄倉庫を使用する際の方針≫

- 倉庫に入れたままにならないように、備品等に期限を記入する。
- 消耗品は流通在庫として、入れ替えながら使用する。
- 倉庫の中は、導線確保するため、田の字になるよう物資のコーナーを分ける。

なお、倉庫への搬入は、10月上旬の予定。

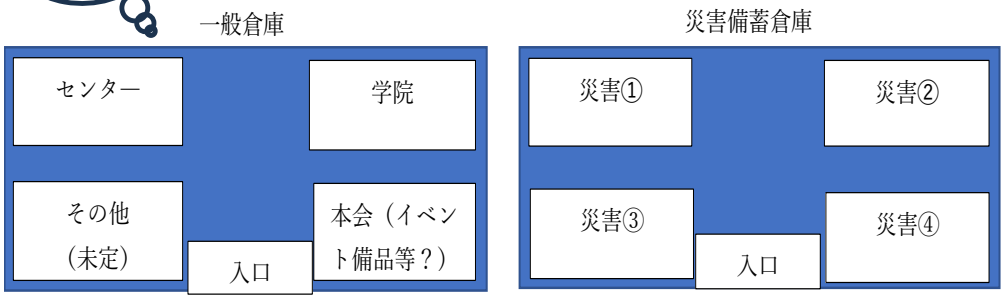
（池田　智子）

写真右手が防災備蓄倉庫、左手が一般倉庫

内部の様子

内部仕様イメージ図

入口から田の字になるように導線確保します！



リレー投稿 82

人生塞翁が馬！

熊本市　工藤歯科医院　工藤 孝昭

酒とビートルズをこよなく愛する秋山会員よりバトンを受けました、熊本市薬園町開業の工藤です。

学生時代はバレー部だった為、子供のPTAバレー大会には家内から無理やり借り出され、ミニバレーチームにも参加したりしていたが、43歳の時に大病を患い人生後悔しない様に今しか出来ない事をやろうと思った時、娘とバレーでもやったらとの家内の助言もありバレーを始めた。長女は全くのスポーツ音痴。運動会に応援に行っても私達に手を振って走っていた。次女は家内に似て活発でリレー選手。小４からバレーを始めてて、かつ娘も私とバレーをすることを受け入れてくれて中体連にも行き、高校では当時女子しかいない第一高校まで行き、コーチまがいな事をやり高校総体も仕事を休んで応援に行った。試合が終わり、娘の同級生７人と龍の家ラーメンに、そしてカラオケに。私も１曲、松山千春の「大空と大地の中で」を熱唱。楽しい時間を過ごせたのも家内のおかげである。

また、私には親分がいる。阿蘇の前歯科医師会会長である。大学時代体育会会長をされていて１人学ランで校内を笑わない男みたいな感じで、今と同じ髪型で目を合わせたら怖い雰囲気を醸し出していた先輩。今でも市内まで下山されてパンチパーマをかけている。長女がまだ１歳の時親分の家でバーベキューをするとお誘いを受け、もちろん私は行きたくない！と思っていたら家内が行こうと！

大学時代バレー部の同級生と共に

親分、同級生、娘たちと楽しいひと時

無理矢理連れて行かれ、その時家内と親分が意気投合し、これが縁で今では週５LINE連絡する師弟関係に（親分には事前に投稿許可を頂いている）。私の全ての事を把握され、いつも助言を頂いている。そんな家内が突然余命３ヶ月を宣告され、この時親分をはじめ、いろんな方にお世話になり支えられて生きていることを改めて痛感した。あまりのショックで大好きなビールは味がしなくなり、何も食べたくもなくなり…。人間ショックを受けたら嚥下機能がおかしくなる事を知った。でも入退院を繰り返し３年半生きてくれて、その間１日も欠かさず国立病院に顔を見に行く生活をしていたが、2014.２.24永眠（享年49）。

娘がいたから生きて行かなければと！長女は看護師になり今年結婚。そして出産予定日が家内の誕生日と聞いた時、あの世から家内が降りてくる！と初孫楽しみで待ち遠しい。次女は家内と同じ歯科衛生士になったが、突然カナダに行かせて、と丸２年行っていたが姉の為に９月に帰国。同級生の花立の渡辺先生からは、人生塞翁が馬ばい！と残りの人生健康なうちは、旅行にでも行き、美味しいお酒を飲んで、ゴルフして焼き鳥食べられればそれでいい。因みに私のお勧めは、飛車角、ニュー天花、坪６です。

では、学生時代一緒に遊びまくった人吉市歯科医師会会長の齋藤会員にバトンタッチします。

熊歯乙女のひとりごと㉝

私を創る大切な趣味

宇城市　ハニー歯科　田染 直子

宇城市小川町で開業しております田染と申します。早いもので開業25年目になりました。この度ご依頼いただきました趣味（着物）（フラダンス）について恥ずかしながら少し書きたいと思います。卒業してすぐに神奈川県の開業医に勤務したのですが、その時近所にあったコミセンで着付け教室を見つけたのが出会いでした。もともと着物や日本の伝統文化に興味があったものですから、そこで習う着付けや着物についての勉強はとても刺激になり、いつしか外国で着物を着たいと思うようになりました。生徒さんにも領事館の秘書の方や、プロのテニスプレーヤーの方など海外で着物を着るために習いに来ている生徒さんが多かった事もあり、私もしっかり影響を受けてNYやイギリスで着物を着て観劇やお食事をしたのが今でもいい思い出です。現在も年に１～２度はお教室に通って学び続けています。先日は久しぶりに振袖の着付けに挑戦したり、江戸小紋の工房を見学に行かせていただき緻密な職人技を目の当たりにして大変興奮いたしました。

久しぶりに振袖の着付けに挑戦

２年に一度の発表会に向けて練習中

フラダンスは始めて20年が経ちます。最初は運動不足解消にと、緩い気持ちで始めたのですが仲間と揃えて踊る群舞は見た目以上に難しく、ハードです。全国大会に一度だけ出させて頂いたことがあるのですが、普段院内で誰にも指導されることの無い立場にいる私にとって、厳しいレッスンを受ける経験はとても新鮮で貴重な体験となりました。現在は２年に１度の発表会に向けて楽しみながら踊っています。これらの趣味は私にとって素敵な仲間との出会いをもたらしてくれました。年齢はバラバラで学生の頃の友達とは少し違うのですが、なんでも話せる気の置けない仲間です。一生大切にして続けたいと思っています。

投稿

会員として患者さんを推薦してみて

上益城郡　クドウ歯科医院　**工藤 智明**

昨年、**熊本県歯科医師会 Presents Beauty×Teeth コンテスト【大学・専門学生部門】**に当医院の患者さんでもある熊本市内の大学４年生の女子大学生を推薦した。笑顔が素敵な女性で開業当初からの患者さんでもあり、家族ぐるみの付き合いもしている。

当初は、こんなコンテストがあるけど、と冗談半分に勧誘してみたが、私の予想に反して知り合いのご両親も本人も反応が良かった。

早速、応募するとそこからトントン拍子に話は進んでいって、本人曰くカメラマンに写真撮影されたりインタビューされたり非日常のようであったらしく、それはそれで楽しかったらしい。投票は、ネット上で行うのだが、私の診療所のスタッフや家族も巻き込み投票を促した。あたかも激戦区の選挙戦の様相を呈していた。

最終的には、準ミスグランプリに選ばれ、県歯会館４階で行われた表彰式には、伊藤会長はじめ歯科医師会関係者、マスコミ、表彰される学生の男女６人とその家族などの参加もあった。私も嬉しくて会館での表彰式に飛び入りで参加した。

表彰される学生からそれぞれ喜びのコメントがあり、男子３人女子３人計６人の学生は、各々、歯の大切さを語ってくれた。また、私の推薦した女子大学生は、「いつも治療してくれる歯医者の先生に感謝します。」といってくれた。歯医者冥利に尽きるの一言であった。ちなみに、日頃のオーラルケアは就寝前のMIペースト塗布であった。

最後は、学生生活最後の良い思い出になりましたと家族一同で喜んでくれた。

今は、卒業して学校の先生になっており、子供たちに歯の大切さを伝えてくれているはずである。

新入会員 NEW

①今もっとも関心のあることを教えてください。
②自分が希望する歯科診療とはどのようなものだとお考えですか。
③他の歯科医院にはない自分の医院の特色を教えてください。
④今後の抱負は何ですか。

第１種会員

伊豆味　亮太
（イズミ　リョウタ）

熊本市中央区帯山5-34-48

いずみ歯科

①子供の成長
②歯科治療を通して、口腔内に関心を持って頂く患者教育を行う歯科診療
③資料を視覚化し、患者さんに分かりやすく説明する。
④口腔内のお悩みを気軽に相談できるような医院を作りたい

坂井　宏光
（サカイ　ヒロミツ）

八代市通町6-17

坂井歯科医院

①子供の成長、家族との時間
ジムでワークアウト
②患者さんとの信頼関係を築き、誠実に寄り添った歯科診療を行うこと
③小児歯科を専門とする副院長（妻）と一緒に、子供からご高齢の方まで幅広い患者層で、賑やかな雰囲気の中で診療をしています。
④祖父、父と同様、これからも地域に貢献できるよう日々研鑽していきたいです。

米花　征貢
（ベイカ　マサツグ）

人吉市灰久保町19-2

那須＆べいか歯科クリニック

①魚釣り
②楽しい診療
③特になし
④地域の方々の口腔の健康を守る

西川　　文
（ニシカワ　アヤ）

熊本市中央区出水4-25-25

西川歯科医院

①・動物愛護（好きすぎて九州動物学院の講師をしています）
・ワイン（好きすぎてシャンパーニュ騎士団の晩餐会に行きました）
旅行・グルメ・写真・古代史・免疫（脳腸相関とか）・映画
②全身の入り口としての口腔機能（咀嚼、嚥下、構音、呼吸、味覚、表情形成、全身のバランスの維持）の回復および向上に寄与すること。
③高齢者、障がい者などの社会的弱者だけでなく、PTSDを持つ歯科的弱者も安心して受けられる医療を提供したいと思っています。
④自身と周囲の健康に留意しながら楽しく毎日を過したいです。

第２種会員

米花　智代
（ベイカ　トモヨ）

人吉市灰久保町19-2

那須＆べいか歯科クリニック

①特になし
②患者さんの不安を和らげ、安心して受診できる
③特になし
④地域の方々のお口の健康を守っていく

第３種会員

小堀　聖子
（コボリ　ショウコ）

熊本市中央区新屋敷１-21-10

新屋敷津田歯科医院

会務報告

会　務　報　告

自　令和５年７月21日
至　令和５年８月17日

所管	日付	摘要	出務者
総　務	７月21日	県スポーツ協会第１回財務特別委員会（ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ）	馬場常務理事
		県口腔保健支援センター出務（県庁）	宇治常務理事
		新旧役員・各委員会合同連絡会議（ホテル日航熊本）	伊藤会長他全役員、常務委員、連盟・学院・国保役員、選挙管理、裁定審議委員
	22日	阿蘇郡市歯会臨時総会懇親会（ホテルキャッスル）	大林副会長、牛島専務理事
	25日	第３回理事会 【承認事項】 （１）関係機関団体からの役員等の推薦依頼（２）後援依頼 【議　　題】 （１）関係機関団体への会費等の納入 （２）第37回中規模県歯科医師会連合会出席者及び協議題 （３）熊本県委託事業に係る予算（４）保存期間を経過した会計帳簿の廃棄 （５）熊本県学校保健会協力寄附金のお願い （６）第１回各郡市歯科医師会会長・専務理事連絡会議 （７）オンライン資格確認未対応会員（８）事業企画書	伊藤会長他全役員（宇治常務理事を除く）
	26日	九州地方社会保険医療協議会熊本部会（熊本第二合同庁舎）	椿副会長
		日歯広報委員会（日歯会館）	伊藤会長
		第２回県社会福祉審議会身体障害者福祉専門分科会審査部会（県庁）	椿副会長
	27日	県口腔保健支援センター出務（県庁）	牛島専務理事
		第３回日歯理事会（日歯会館）	伊藤会長
	28日	第１回県社会福祉審議会保健福祉推進部会（ホテル熊本テルサ）	椿副会長
	29日	大阿蘇会総会・比嘉奈津美参議院議員講演会および懇親会	伊藤会長、牛島専務理事
	30日	故出口諭会員（熊本市）告別式弔辞奉呈（熊本市）	伊藤会長
	31日	県口腔保健センター出務（県庁）	髙水間理事

所管	日付	摘要	出務者
総　務	8月1日	第2回常務理事会 （1）新入会員の承認について（2）関係機関・団体への会費等の納入 （3）関係機関・団体からの役員等の推薦依頼 （4）3・4階LED更改、全館非常灯、誘導灯更改 （5）部活動補助金交付申請（6）事業企画書	伊藤会長他常務理事以上全役員
	2日	県循環器病対策推進協議会（県庁）	牛島専務理事
	3日	第4回日歯常務理事会（日歯会館）	伊藤会長
	4日	くま歯キャラバン隊（山鹿市）（山鹿市交流センター） 参加者：14人　テーマ：医療紛争の実情と実例	椿理事
	5日	第1回九州各県会長会（城山ホテル鹿児島）	伊藤会長
		第1回九地連協議会（城山ホテル鹿児島）	伊藤会長、椿副会長、牛島専務理事、長野常務理事、宮﨑課長補佐
		九地連総会（城山ホテル鹿児島）	伊藤会長、椿副会長、牛島専務理事、長野常務理事、宮﨑課長補佐
	7日	二地区役員連絡協議会打合せ （1）懇親会・二次会・アトラクション	牛島専務理事、宇治常務理事
		県歯科保健推進会議（ホテル熊本テルサ） 県口腔保健支援センター出務	宇治常務理事
		熊本市歯会との懇親会（熊本市）	伊藤会長他全役員
	10日	第5回日歯常務理事会（日歯会館）	伊藤会長
		DX打合せ　本会・学院ルーター見直し	宇治常務理事
		第1回災害時歯科保健医療供給体制検討会 （1）災害時歯科保健医療供給体制検討会（2）災害歯科保健医療研修強化事業研修会 （3）地域における歯科医師会、行政との意見交換会（4）その他	永松副会長、牛島専務理事、宇治常務理事、椿理事
	16日	支払基金審査運営協議会（診療所）	【Web】伊藤会長
		第3回常務理事会 （1）新入会員の承認について（2）関係機関・団体への会費等の納入 （3）関係機関・団体の式典出席（4）令和5年度シニア倶楽部社会保険研修会の運営 （5）令和5年度シニア倶楽部（懇親会）の運営（6）歯科ヒヤリ・ハット事例収集等事業 （7）診療情報提供書の取り扱い（8）各委員会でのファイル箱利用 （9）会員発送同封依頼（10）Beauty × Teeth コンテスト2023の開催	伊藤会長他常務理事以上全委員
	17日	県口腔保健支援センター（県庁）	宇治常務理事
		裁定審議委員会 （1）委嘱状伝達（2）委員長、副委員長の互選	伊藤会長、椿副会長、牛島専務理事他全委員
		選挙管理委員会 （1）委嘱状伝達（2）委員長、副委員長の互選	伊藤会長、永松副会長、牛島専務理事、宇治常務理事、中原委員長他全委員
学　術	7月24日	学術委員会 （1）委嘱状伝達（2）11月会見発表（3）歯周病対策プロジェクトセミナー （4）1月衛生士会セミナー（5）3月歯科医学大会	伊藤会長、馬場常務理事、豊田理事、内野委員長他全委員
社会保険	7月22日	社会保険委員会 （1）委嘱状伝達（2）会員向け発行物等役割分担（3）個別指導立会者、個別相談対応 （4）共同指導（5）シニア倶楽部社保研修会（5）報告事項と今後の日程	椿副会長、野田理事、桐野委員長他13委員
	28日	社会保険医療担当者監査（熊本第二合同庁舎）	舩津理事
	8月3日	日歯社会保険委員会（日歯会館）	椿副会長
	10日	保険個別指導（熊本第二合同庁舎）	中村・宇都委員
地域保健学校歯科	7月21日	がん新規事業について打合せ（診療所）	牛島専務理事
		熊本県歯科保健推進会議打合せ（熊本市） 県健康づくり推進課との打合せ	大林副会長
	24日	地域保健学校歯科委員会 （1）第4次がん対策（2）委員会運営 （3）歯と口の健康に関する「図画・ポスター、習字、標語」コンクール審査	伊藤会長、大林副会長、髙水間理事、郷原委員長他岡村委員を除く全員
	31日	第1回くまもと21ヘルスプラン推進委員会（県庁）	髙水間理事
	8月1日	第21回九州地区健康保健教育研究大会（市民会館シアーズホーム夢ホール）	伊藤会長、大林副会長
	5日	県スポーツ協会メディカルチェック（熊本市医師会ヘルスケアセンター）	大林副会長
	7日	県歯科保健推進会議（ホテル熊本テルサ）	大林副会長、宇治常務理事
	8日	県がん対策推進会議（熊大病院）	大林副会長
	9日	【Web】笑顔ヘルCキャンペーン打合せ（各所） 【Webex】熊日担当者との打合せ	大林副会長、神﨑・髙水間理事
	16日	事業所歯科健診打合せ（㈱共同）	髙水間理事
	17日	県PTA共催審査委員会（県総合福祉センター）	牛島専務理事
		県スポーツ協会メディカルチェック判定会（水前寺共済会館）	大林副会長

所管	日付	摘要	出務者
地域包括ケア	7月24日	【Web】連携室事業打合せ（各診療所） （1）老年歯科フォーラムシンポジスト（2）モデル地域打合せ （3）ケアマネ協会との研修会（4）在宅歯科医療連携各郡市担当者会	長野常務理事、町田理事
	27日	地域包括ケア委員会 （1）委員会の会務・概要・予算（2）各補助金事業・委託事業（3）九州老年フォーラム （4）各役割分担（5）口の健康と食べる力を支える会（6）委員会取り決め事項	牛島専務理事、長野常務理事、町田理事、赤尾委員長他志方委員除く全委員
	29日	口腔健康サポーター市民講座　公開記念熊本市民セミナー（ホテル日航熊本） 講師：長野常務理事他　受講者：195人	伊藤会長、長野常務理事
	31日	【Web】モデル地域（荒尾市）と打合せ （1）荒尾市でのモデル地域活動（2）県より質問	牛島専務理事、長野常務理事、町田理事、赤尾委員長他3人
	8月7日	県脳卒中医療推進検討会議（県庁防災センター）	長野常務理事
	8日	【Web】九州老年歯科フォーラム打合せ（各診療所） （1）進捗状況（2）シンポジスト選定（3）予算検討	長野常務理事、町田理事他3人
広　報	7月24日	広報委員会 （1）熊歯会報8月号　第2校目校正	伊藤会長、馬場常務理事、神﨑理事、月精委員長他全委員
	8月2日	T1パークとの打合せ　Beauty × Teethコンテスト打合せ	神﨑・髙水間理事、秋山副学院長
	10日	【Web】広報委員会 （1）会報9月号　第1校校正（2）いい歯の日広告	【会館】神﨑理事、月精委員長、秋山副委員長【Web】他全委員
厚生・医療管理	7月27日	【Web】歯科衛生士確保対策事業打合せ（各診療所） （1）合同就職説明会（2）くまもとお仕事探検フェア出席者募集 （3）今後の講演会予定	永松副会長、工藤理事、牧委員長
	8月1日	【Web】第1回日歯税務・青色申告委員会（診療所）	牛島専務理事
	8日	【Web】厚生・医療管理小委員会（各診療所） （1）合同就職説明会（2）歯科衛生士バンク説明会（3）シニア倶楽部（4）その他	永松副会長、工藤理事、牧委員長、宮本副委員長、江藤委員
	10日	【Web】厚生・医療管理小委員会（各診療所） （1）合同就職説明会	工藤理事、牧委員長
センター	7月24日	歯みがき教室（八代市社会福祉事業団児童発達支援センターのぞみ） 受講者7組	
	8月4日	歯科保健指導（つばき学園） 受講者：施設職員8人、入所者11人	
		センター定例ミーティング（口腔保健センター） （1）くまもとメディカルネットワーク（2）レセプト業務（3）酸素、笑気置き場 （4）協力歯科医、歯科衛生士養成システム（5）研究事業（6）実務者委員会、部会 （7）訪問車（8）口腔ケア事業等	椿センター長、我那覇副センター長、山室副センター長
	5日	歯科健診、歯科保健指導（スペーシアれんが）　受診者18人	匠原歯科医師
学　院	7月25日	第3回理事会	東学院長
	8月8日	学院前期終業式	東学院長
国保組合	7月22日	国保臨時組合会 （1）令和4年度歳入歳出補正予算（案）（2）令和4年度歳入歳出決算 （3）令和4年度歳入歳出決算余剰金処分（案）（4）令和4年度特別会計歳入歳出決算 （5）令和4年度特別会計歳入歳出決算余剰金処分（案） （6）令和5年度歳入歳出補正予算（案）（7）役員改選	伊藤理事長他全役員、25議員
	24日	国保連合会通常総会（ホテル熊本テルサ）	伊藤理事長

其の1

会員専用グループ保険制度のご案内

保険料がさらに
お安くなりました

配偶者も1000万円
まで加入OK

◎令和５年８月より
最高「5000万円」の
保障が無診査で加入OK
80才まで継続可能になります！

１年更新で配当金は
毎年加入者へ還元
（2022年の還元率54%）

グループ保険は歯科医師会が契約者で
保険料を一括納付しています。
会員だけがいつでも自由に加入できる制度です。

引受保険会社 幹事 メットライフ生命

其の2

既に下記の保険会社でご加入の会員様も
保険料納付は団体収納扱いでお願いします！

下記保険会社と団体収納契約をしている為、会費明細引きがご利用可能。

個人加入の保険料が団体割引でお安くなり、保険内容に何も影響ありません。

手続きは簡単、事務局が代行します。ぜひ便利でお得な制度をご活用ください。

朝日生命　アフラック生命　住友生命　SOMPOひまわり生命
第一生命　日本生命　明治安田生命　メットライフ生命

[県歯事務局 事業課　TEL：096-343-8020]

Kumamoto Prefecture Dentistry Medical Association Report
October 2023 No.808

笑顔ヘルC 8020 歯からはじめる

11 November 主な行事予定

7日(火)	第８回常務理事会
12日(日)	笑顔ヘルＣキャンペーン中央イベント
12日(日)	図画・ポスター、習字コンクールならびに歯・口の健康啓発標語コンクール表彰式
18日(土)	学院一般・社会人二次入学試験
19日(日)	がん医科歯科連携研修会
21日(火)	第９回常務理事会
23日(木)	介護者歯科実技研修会
25日(土)	在宅歯科医療連携各郡市意見交換会
26日(日)	歯周病対策プロジェクトセミナー会員発表
26日(日)	第１回がん医科歯科連携登録医のための全国共通がん医科歯科連携講習会
28日(火)	第７回理事会

熊本県ご当地よ坊さん

熊本県歯科医師会
安心・安全歯科医療推進制度

県立大学生が若者への
オーラルケアの情報を発信しています！

Instagram

熊本県歯科医師会公認の
オーラルケアサポートアカウント🦷

Instagram

熊本歯科衛生士専門学院は
Instagram でも情報発信中！
ぜひご覧ください

編集者のつぶやき

３年中止だった九地連厚生行事のボウリング大会が、今月開催される。この間も月に30ゲームはボールを転がしていたので、コロナ前より心技体ともに自らの成長を実感している。先ずは大会９ゲームのave.200以上を目標にして、他の選手を気にせず一投入魂で臨みたい。

(A.K)

■発行日／2023年10月５日発行　■発行人／伊藤　明彦
■発行所／一般社団法人 熊本県歯科医師会
〒860-0863 熊本市中央区坪井2丁目4番15号
TEL／096-343-8020　FAX／096-343-0623
URL／https://www.kuma8020.com
■印刷所／コロニー印刷